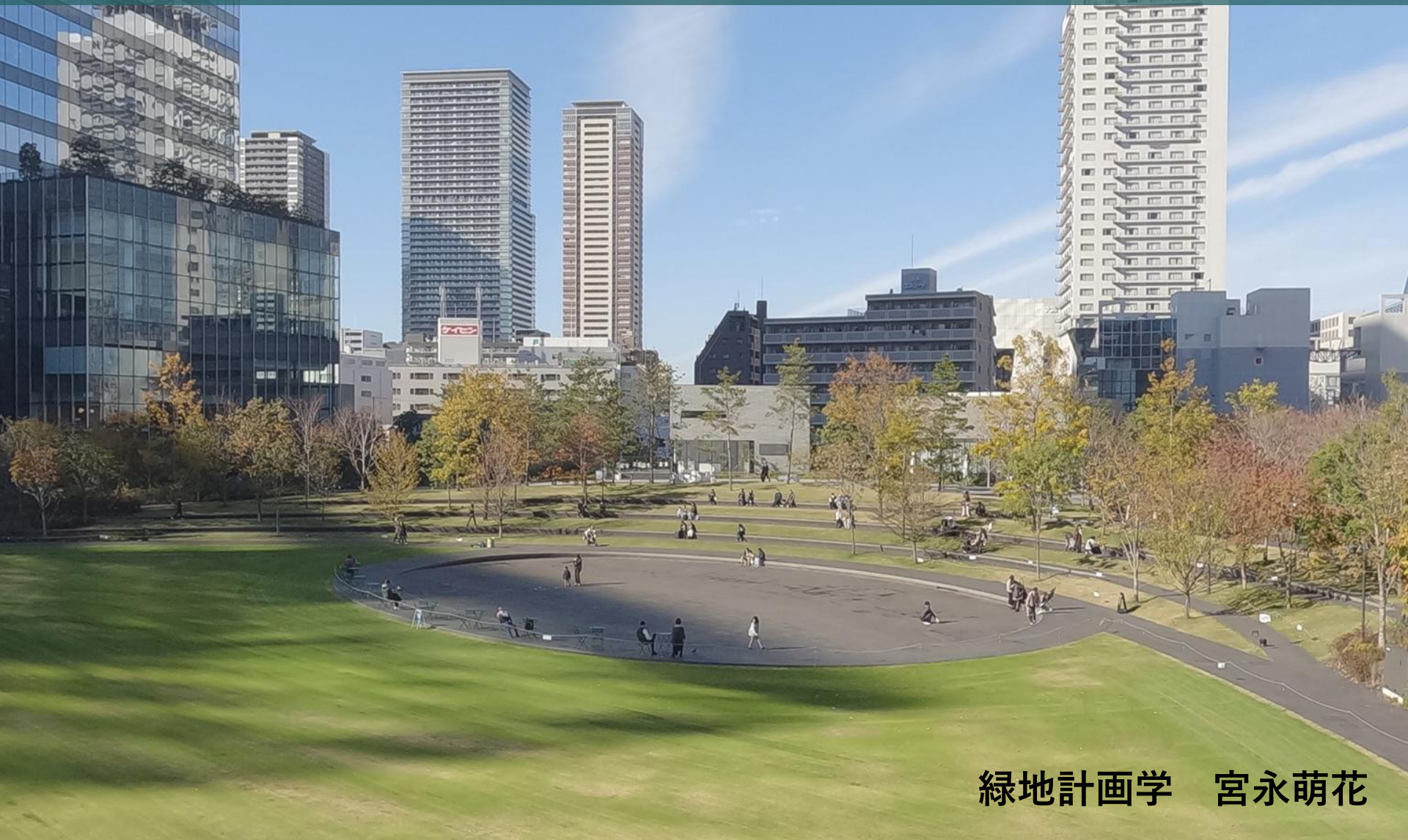


# 屋外公共空間における他者との関係に着目した 「ひとり」での滞留利用に関する研究



# 研究の背景および目的

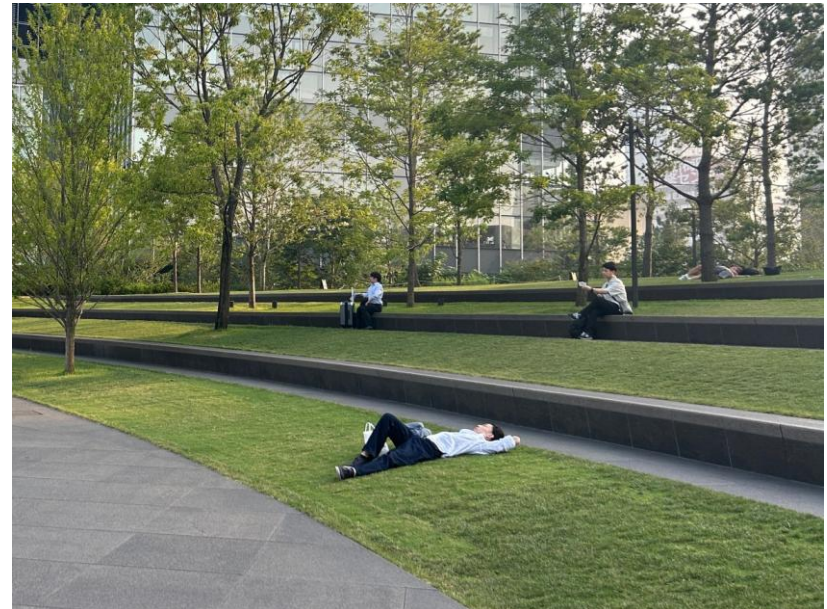
## 研究の背景

- 屋外公共空間は人々が集い、賑わいを生み出すだけでなく、他者と関わりを持ちつつ、安らぎや楽しさを感じながら「ひとり」で過ごせることも重要である
- そのためには、個人が他者との関係の中で多様な過ごし方を選択できる状態が求められる

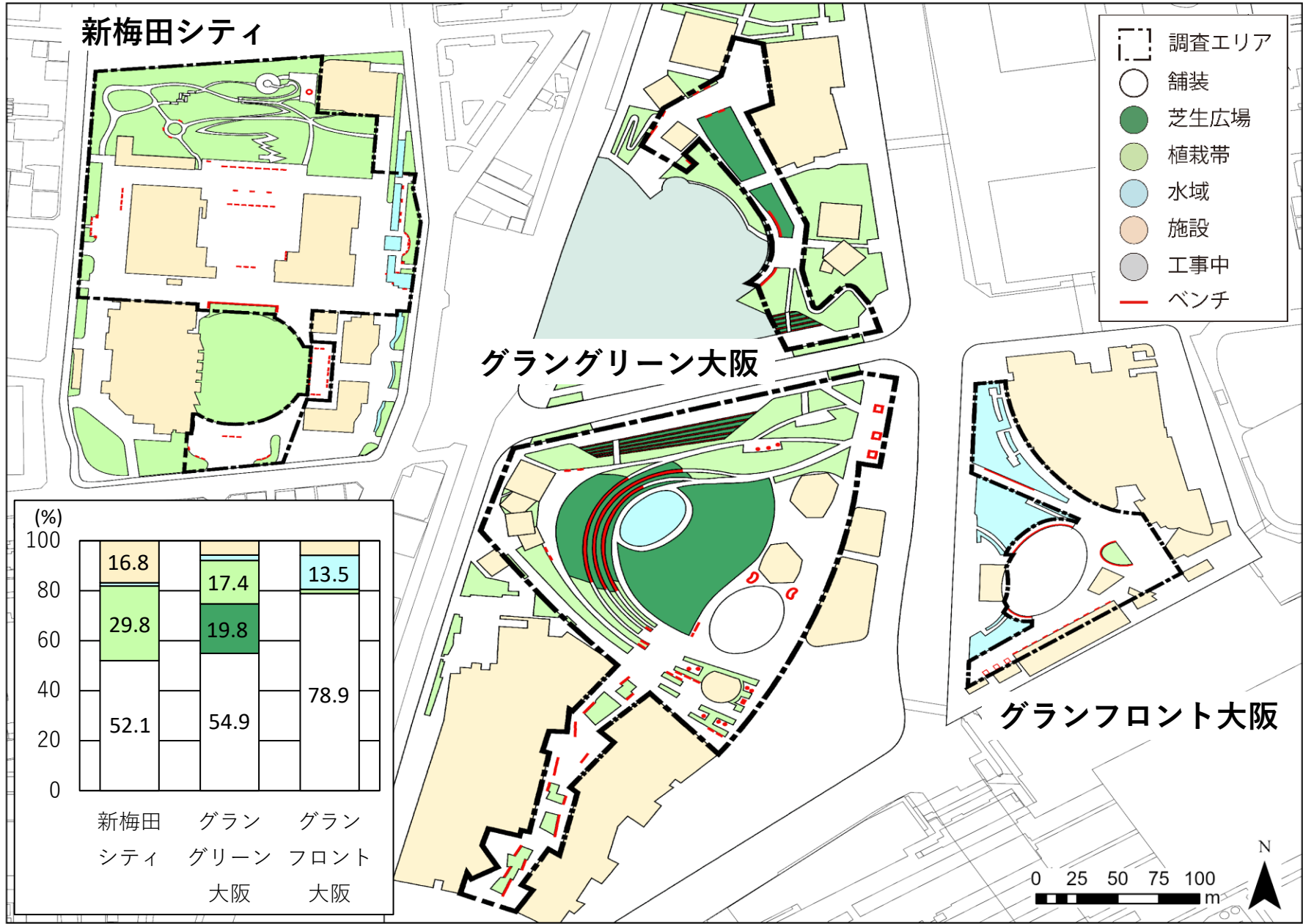


## 研究の目的

- 屋外公共空間における周囲の他者との関係が「ひとり」での滞留利用にどのような影響を及ぼすのかを明らかにする



# 調査対象地



# 利用実態：調査および解析方法

**調査方法：**ルートセンサス法による利用実態調査

**調査日時：**2025年9月の平日・休日それぞれ1日ずつの17:00~18:00

**解析方法：**・平日、休日／項目別で滞留グループの位置を地図化

対象：着座している滞留者

分類項目：<滞留グループ属性>

- ・性別（男性のみ/女性のみ/混合）
- ・年齢層（若年層のみ/青年層のみ/壮年層のみ/  
中年層のみ/老年層のみ/混合）
- ・グループ構成人数（1人/2人/3,4人/5人以上）

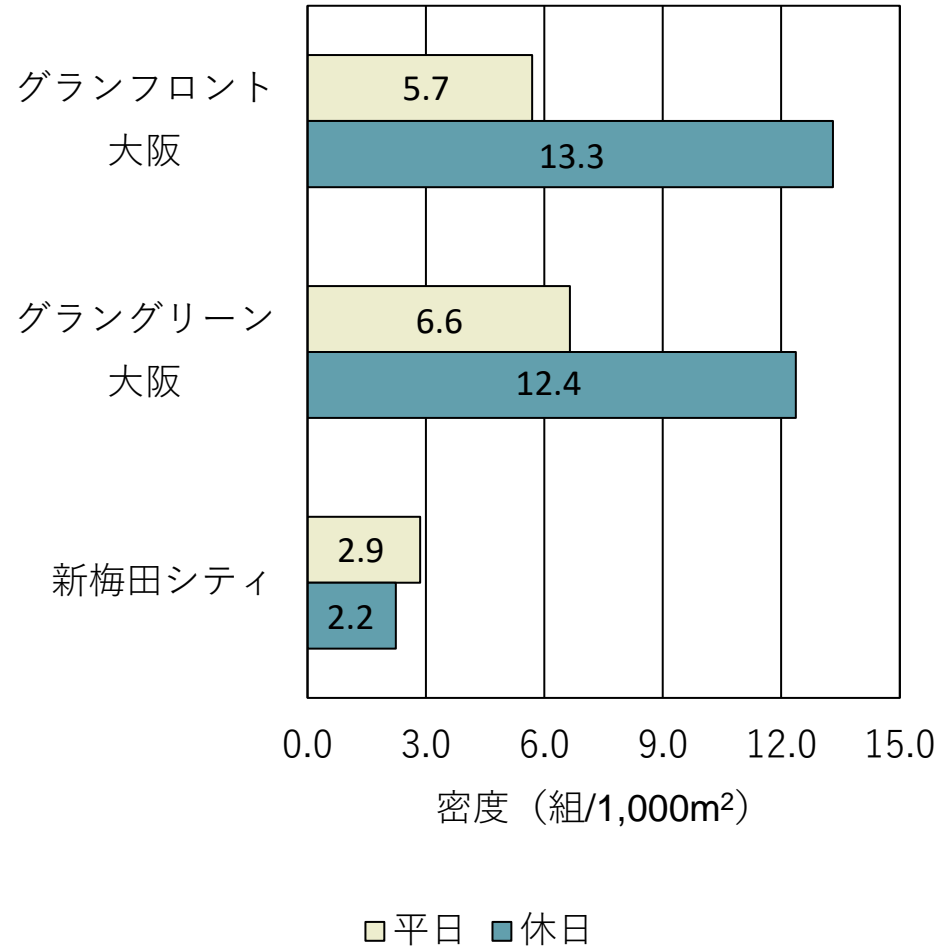
<利用特性>

- ・利用内容（休憩/会話/デバイス利用/読書/飲食）
- ・着座設備（ベンチ/可動椅子/芝生）

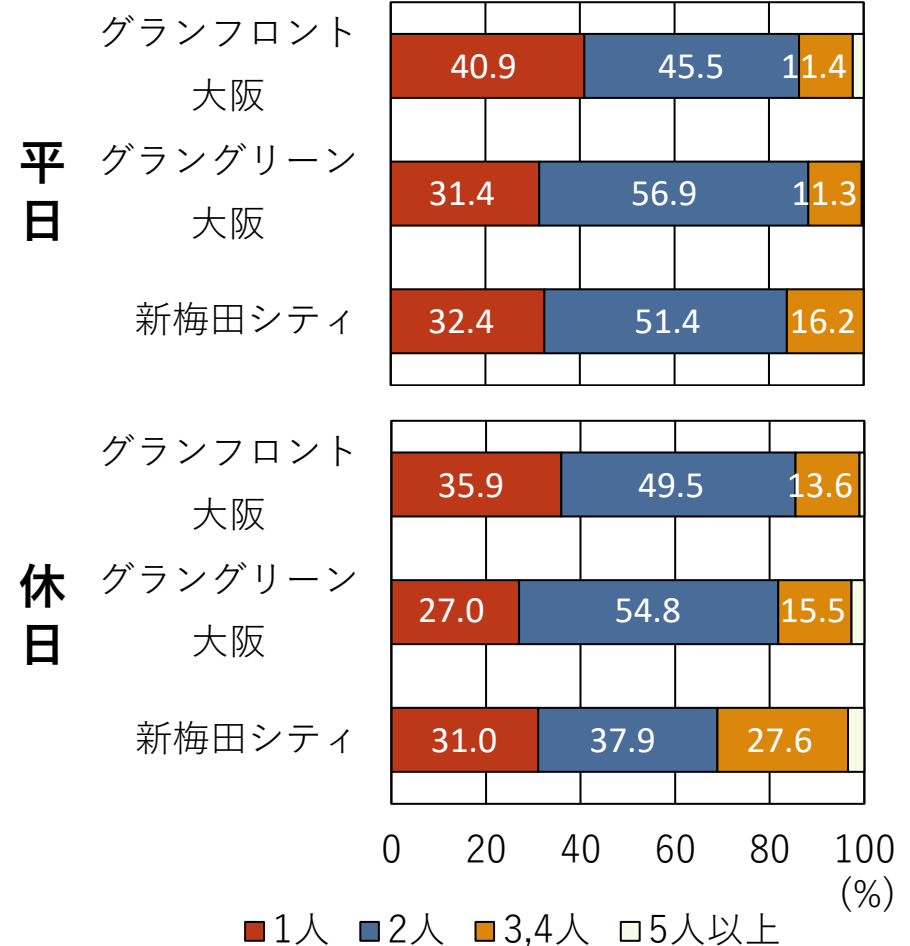
・平日、休日／対象地別で集計⇒傾向を把握

# 利用実態：密度／グループ構成人数

## 滞留グループの密度

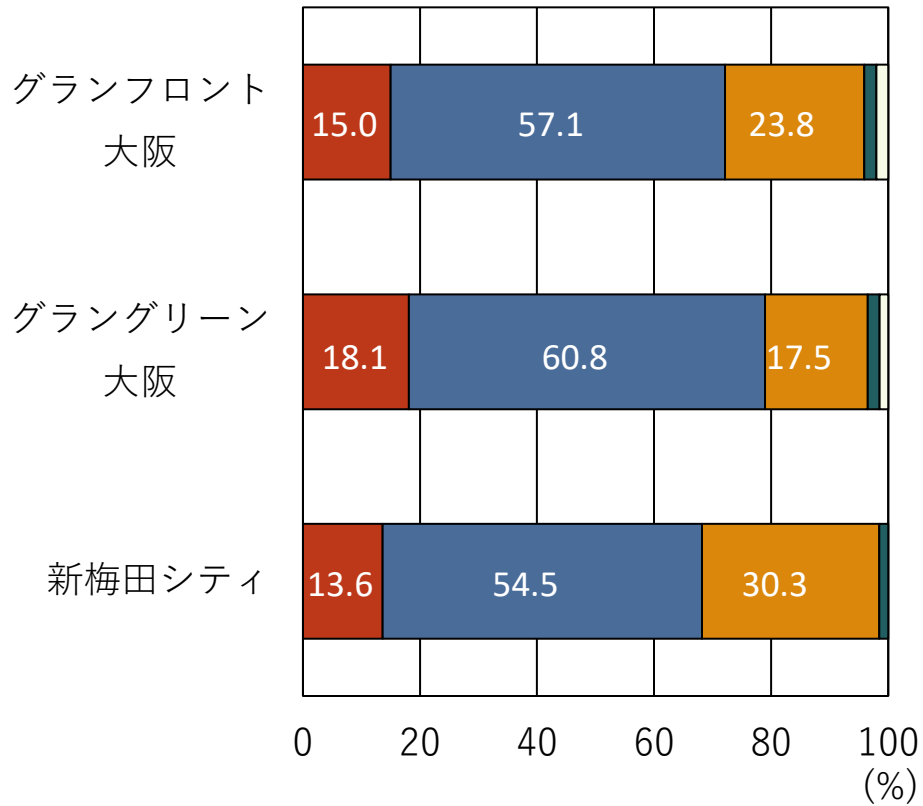


## グループ構成人数

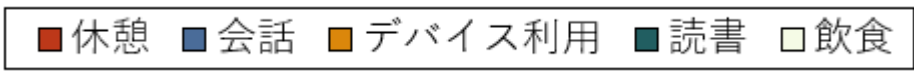
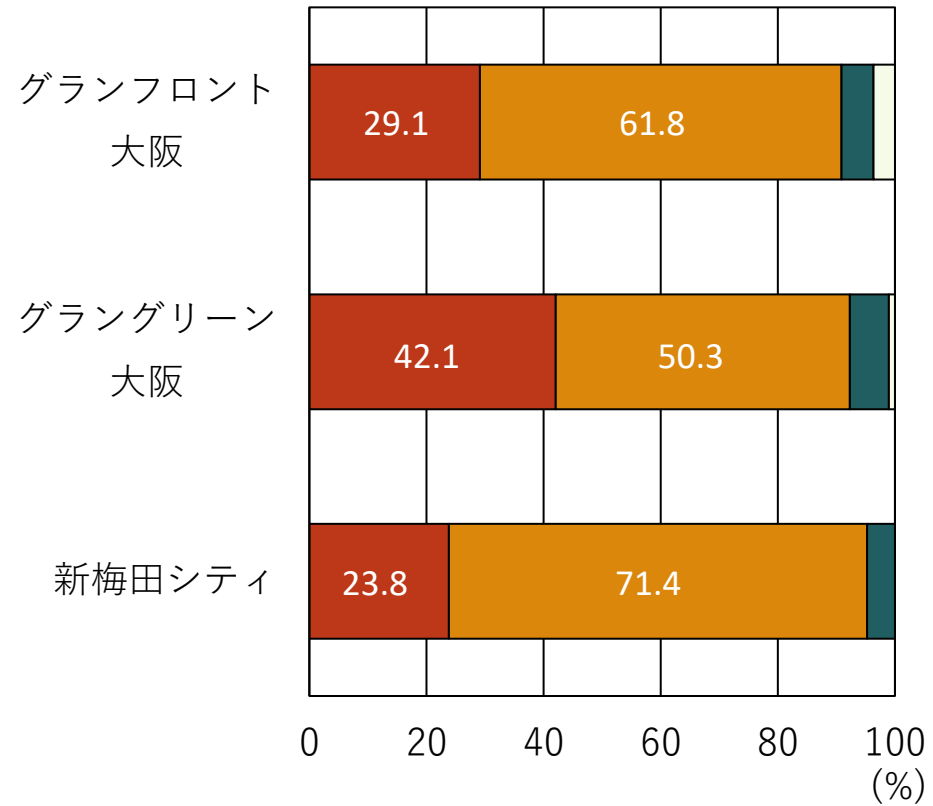


# 利用実態：利用内容

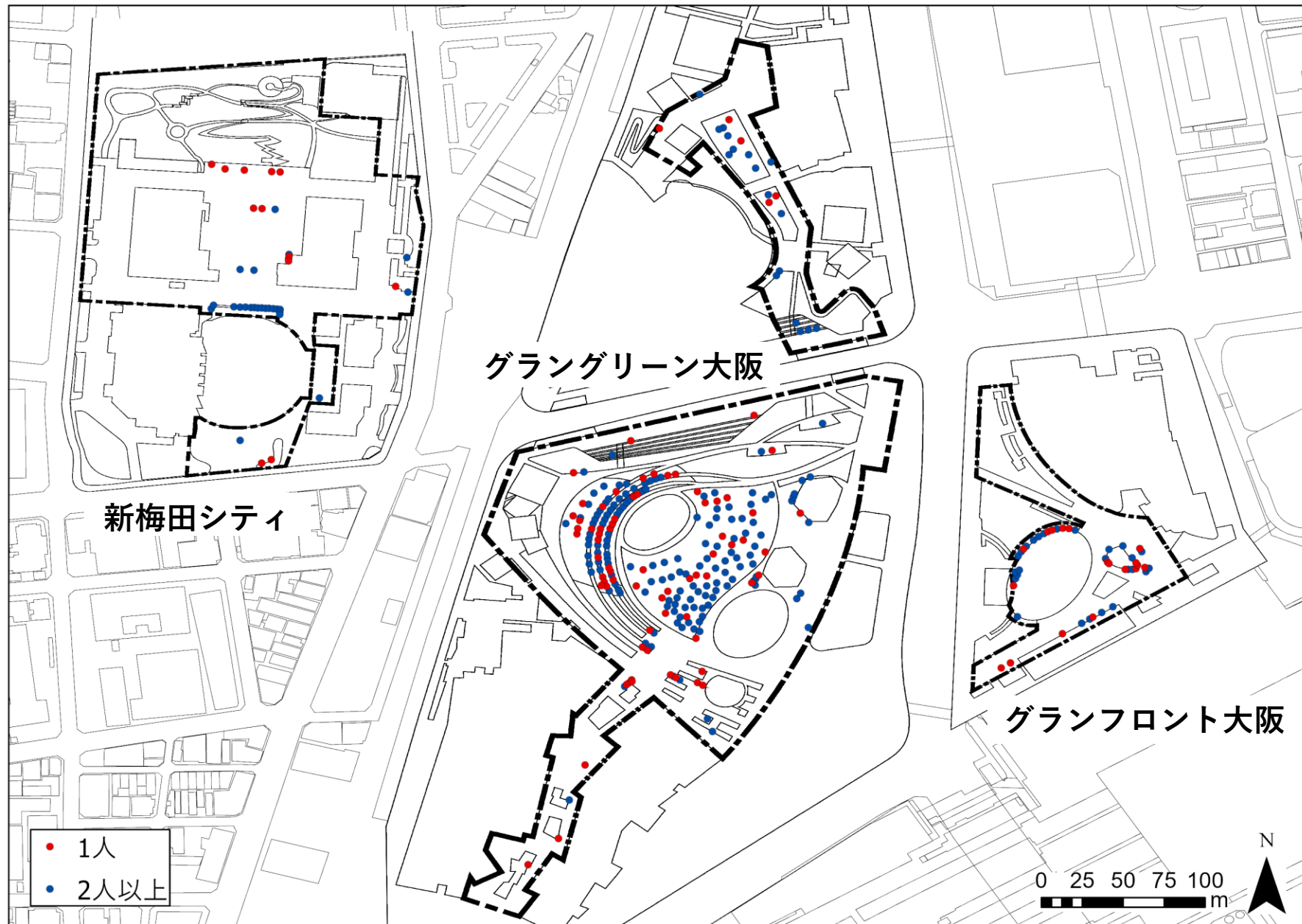
## 全体



## 1人滞留者



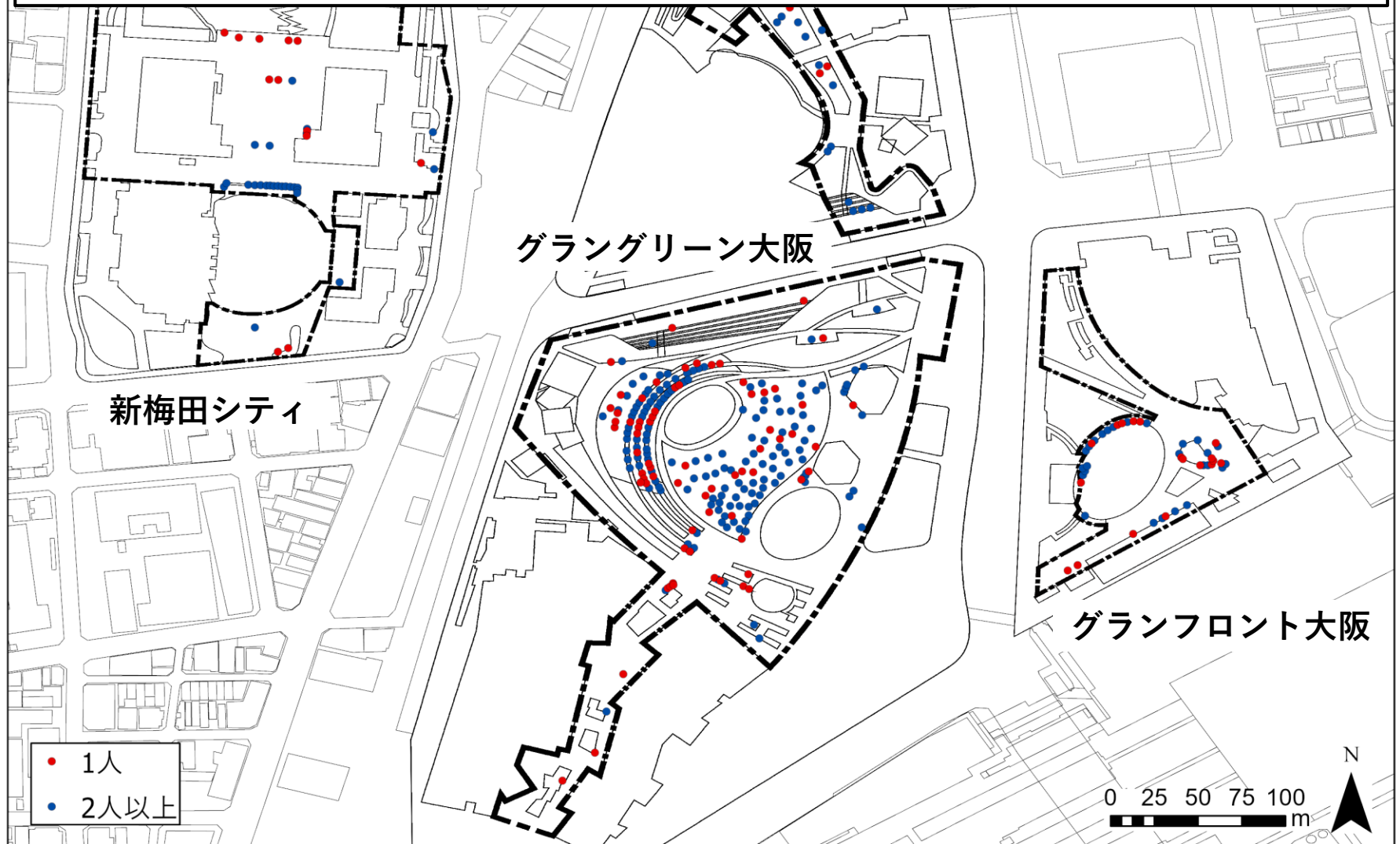
# 分布特性：解析方法



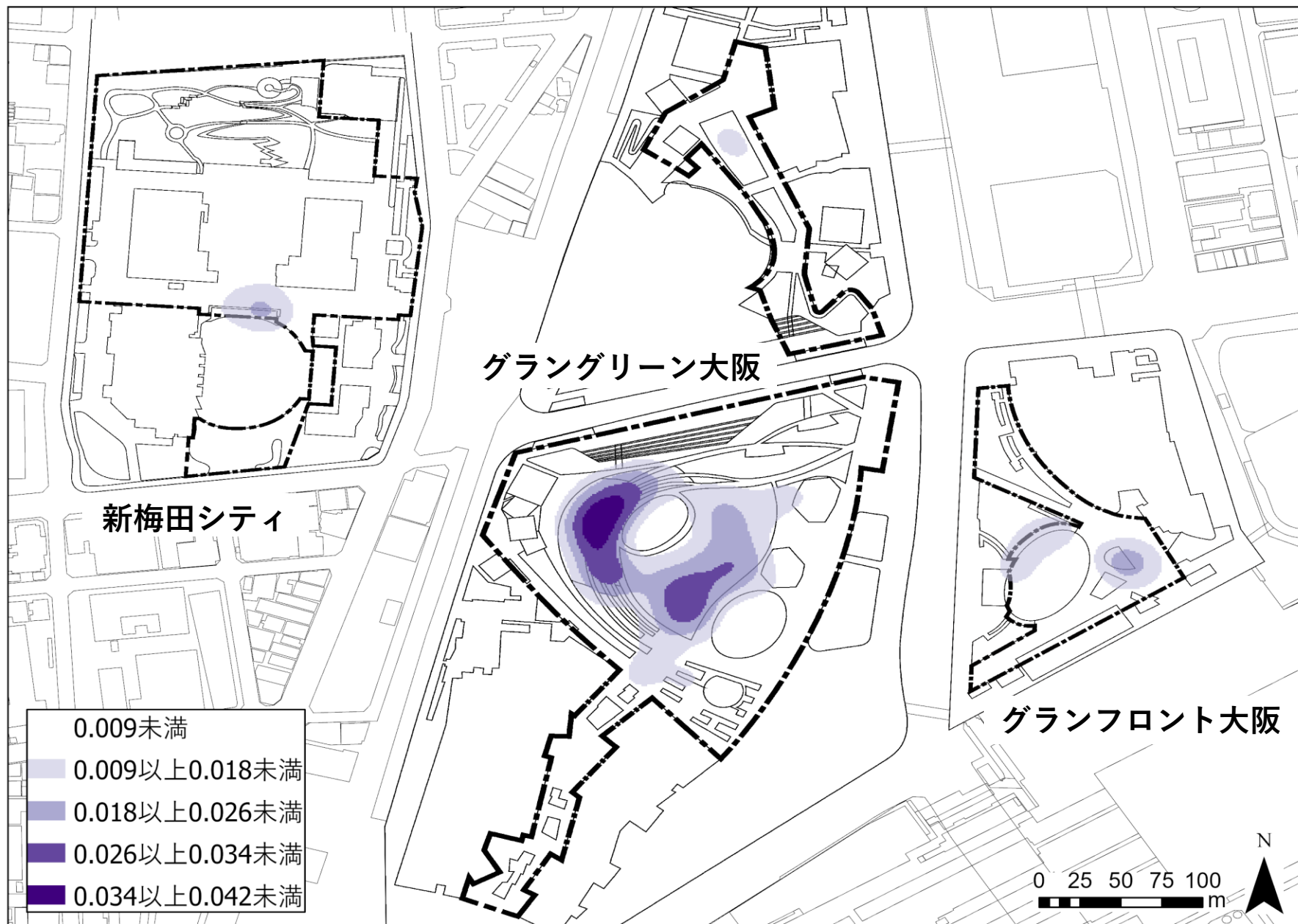
# 分布特性：解析方法

滞留グループの密度変化を連続的に表現できるカーネル密度分析

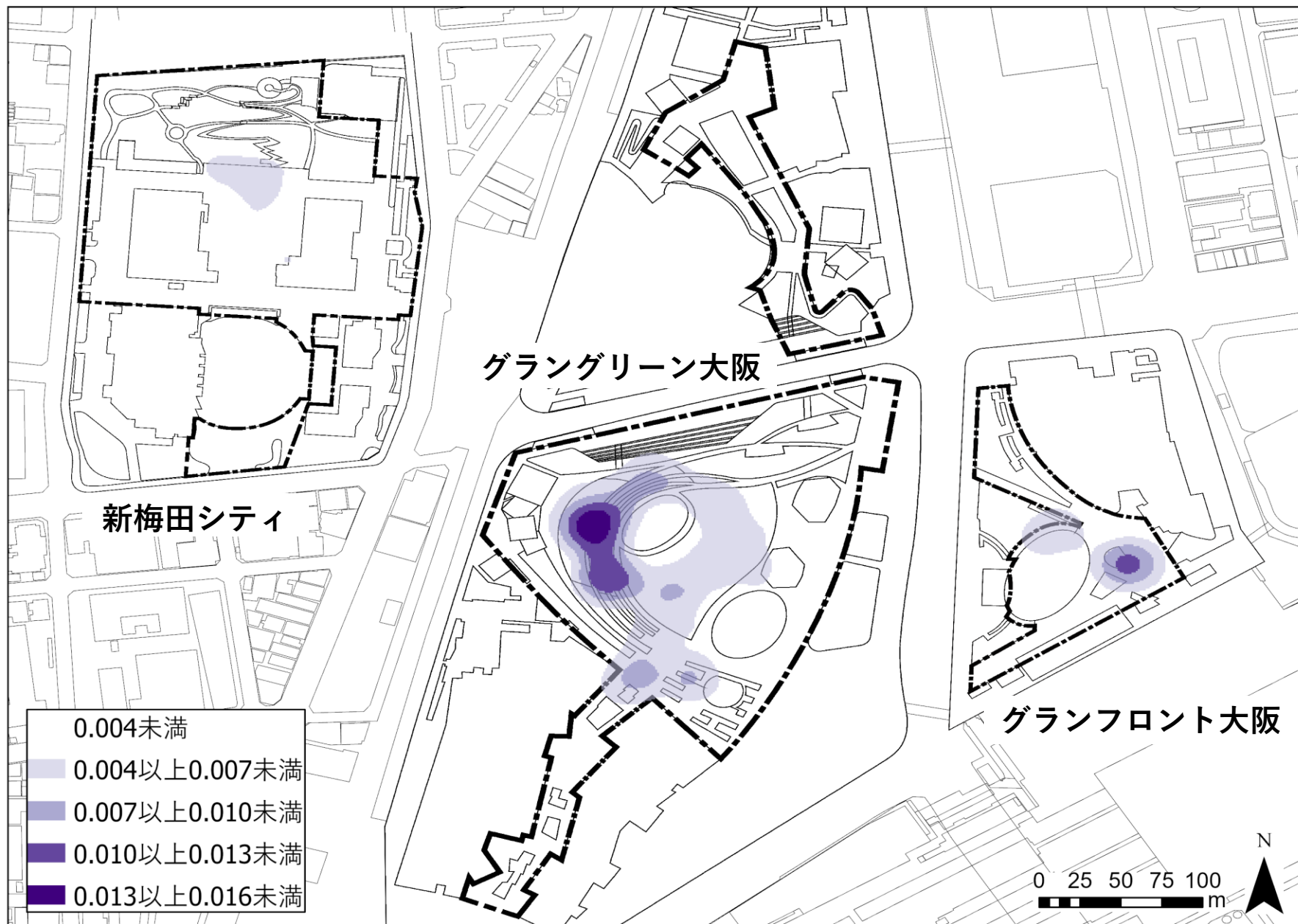
⇒ 滞留グループの集積傾向を把握



# 分布特性：全体のカーネル密度（平日）



# 分布特性：1人滞留者のカーネル密度（平日）



# 1人滞留利用に対する他者の影響：調査および解析方法

**対象地**：グラングリーン大阪サウスパーク  
アンフィローン

**調査方法**：ひらめきの道から1分間隔で写真を撮影

**調査日時**：2025年11月の平日・休日それぞれ  
2日ずつの8:00~17:00

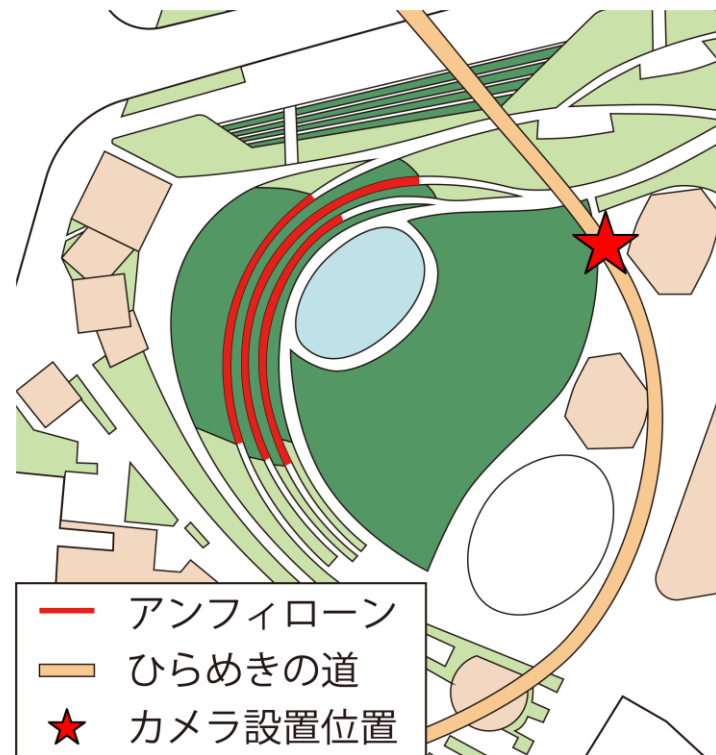
**解析方法**：【1時間ごと】

- ・滞留グループ数の時系列推移

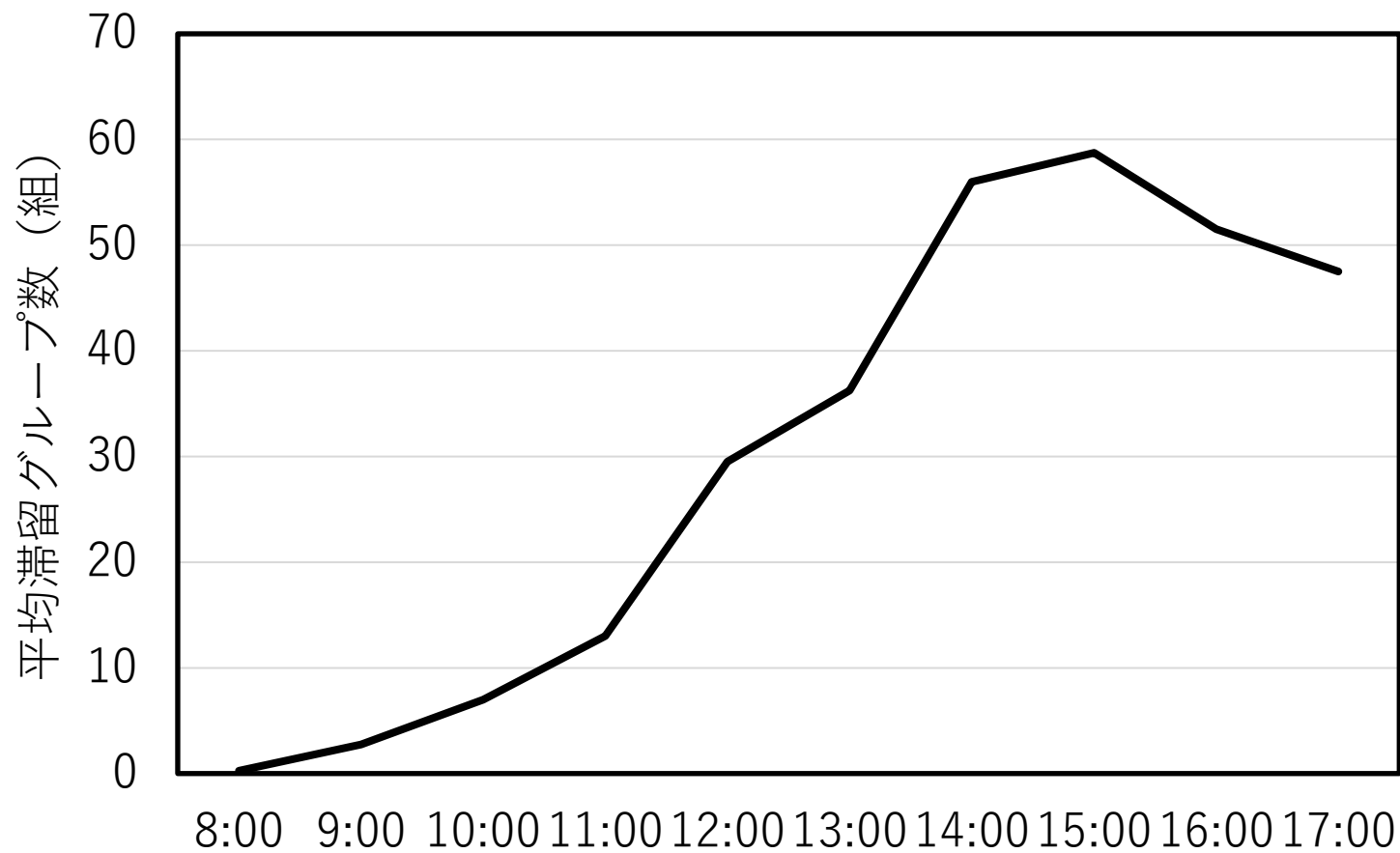
【1分ごと】

- ・滞留グループ数
- ・各滞留グループの着座・立去り時刻
- ・滞留時間

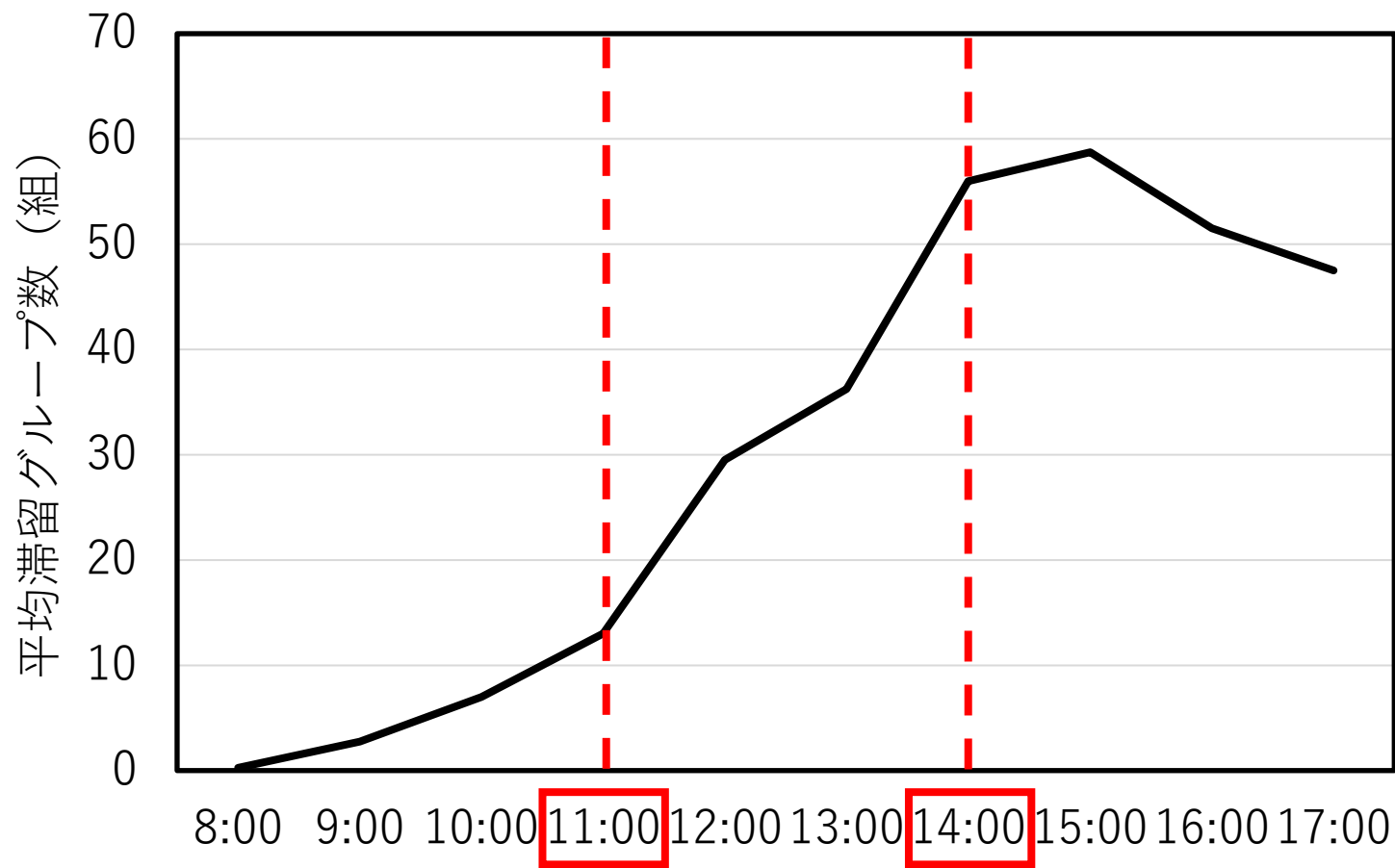
⇒1人滞留利用と周囲の滞留  
グループ数との関係を把握



# 1時間ごとの滞留グループ数推移



# 1時間ごとの滞留グループ数推移



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:00

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:01

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:02

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:03

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:04

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:05

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:10

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:15

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:30

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

11:45

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

12:00

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

12:15

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

12:30

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

12:45

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

13:00

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

13:15

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



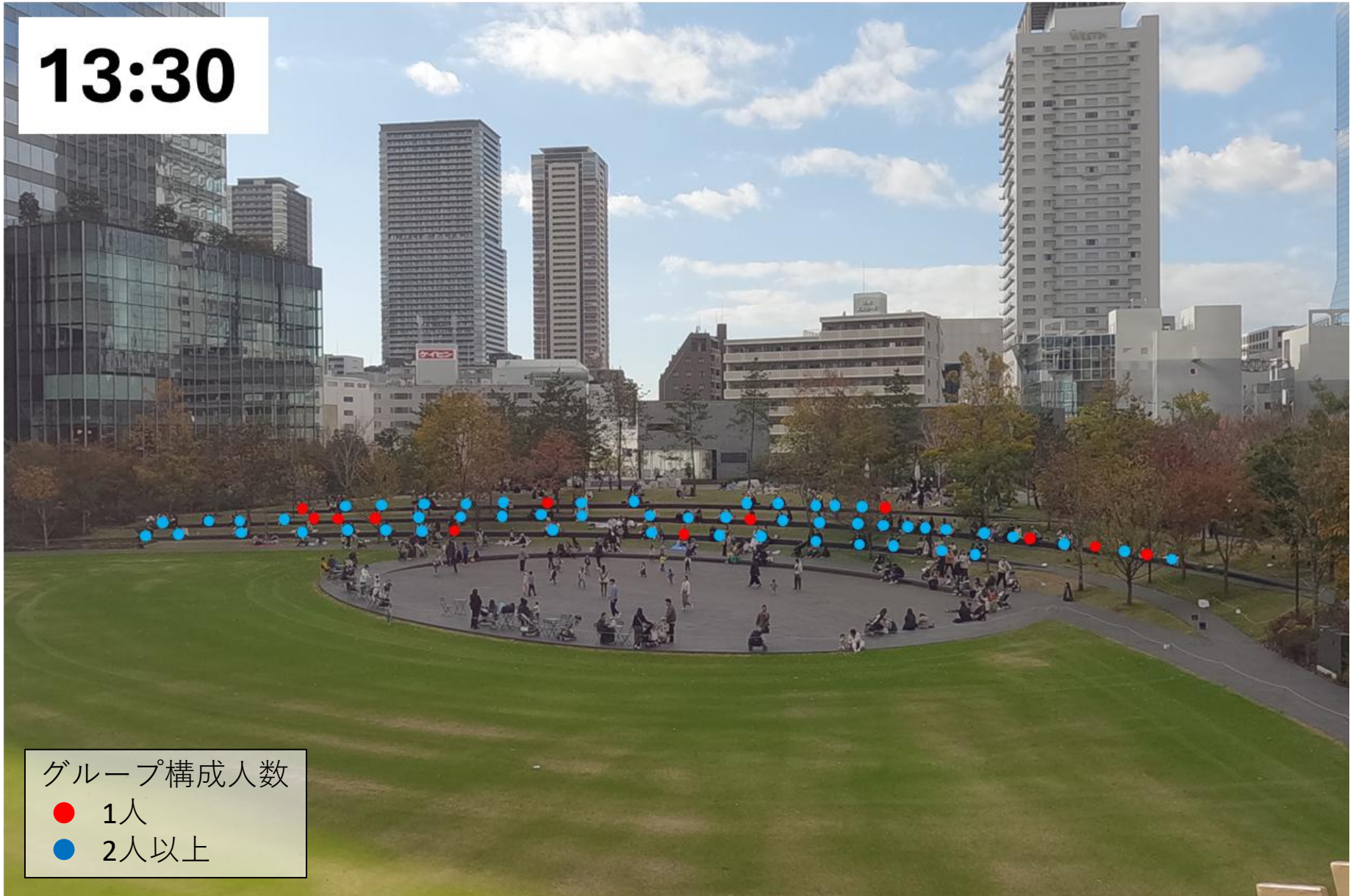
# 1分ごとの滞留グループ数推移

13:30

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



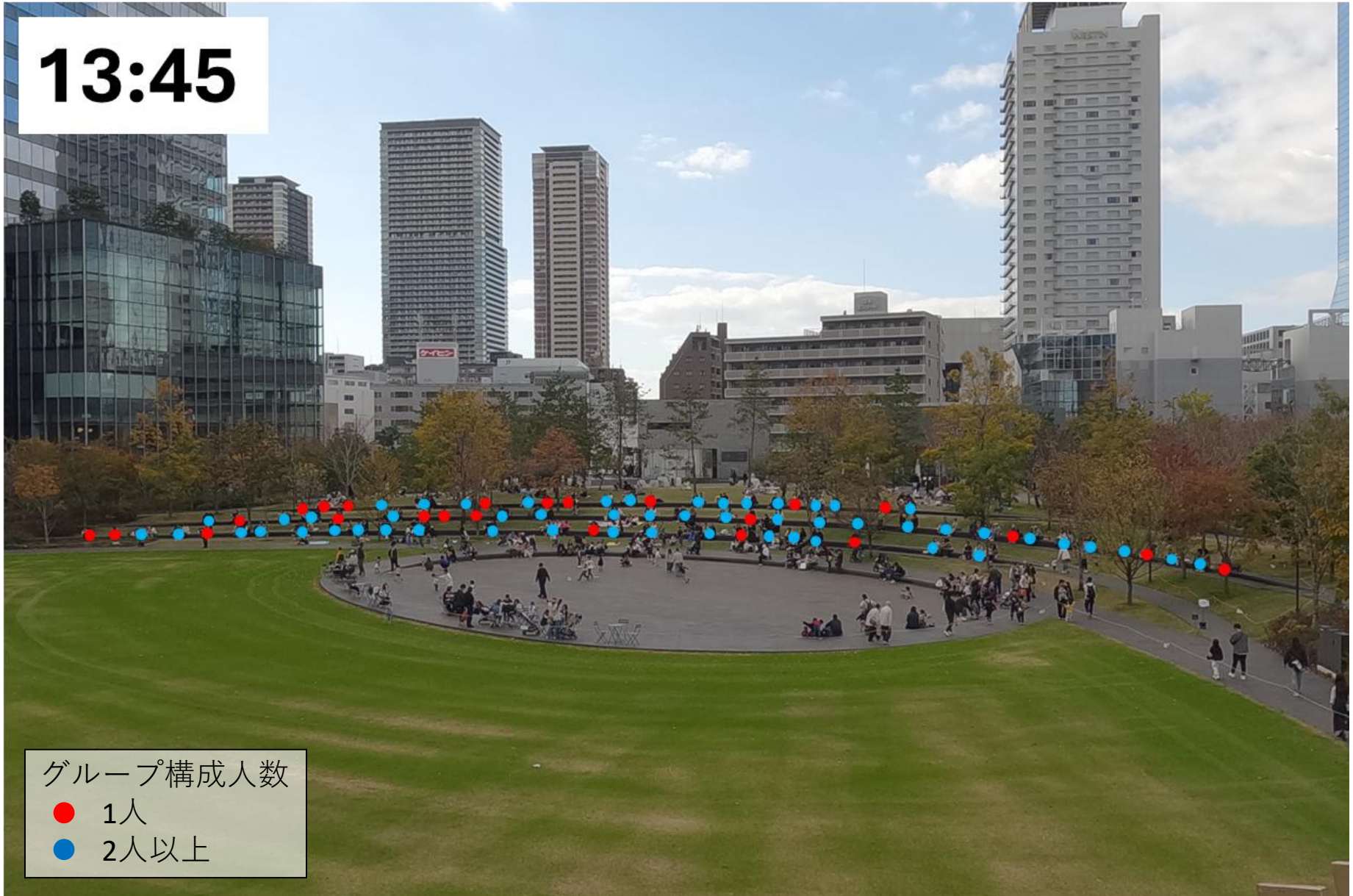
# 1分ごとの滞留グループ数推移

13:45

グループ構成人数

● 1人

● 2人以上



# 1分ごとの滞留グループ数推移

14:00

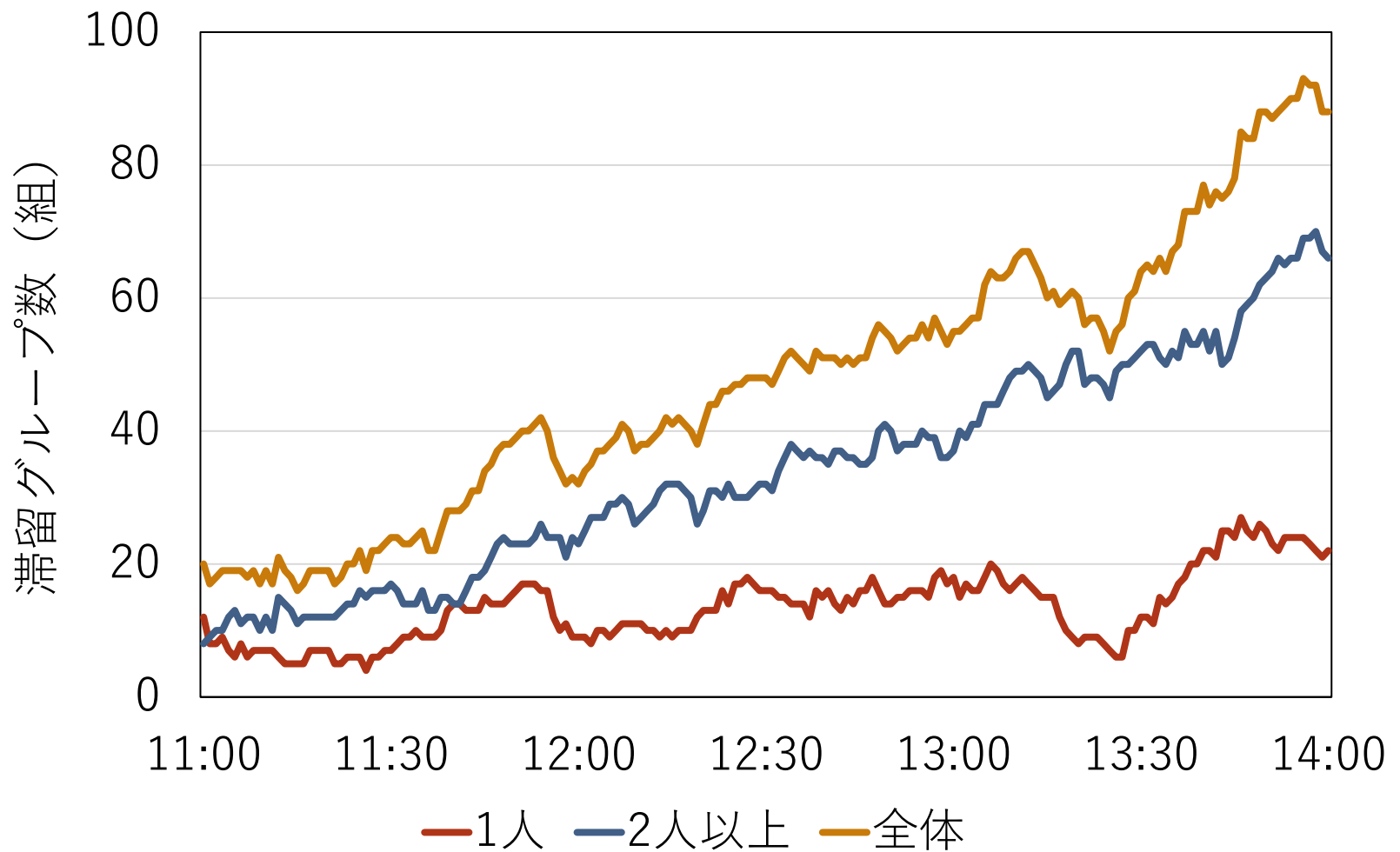
グループ構成人数

● 1人

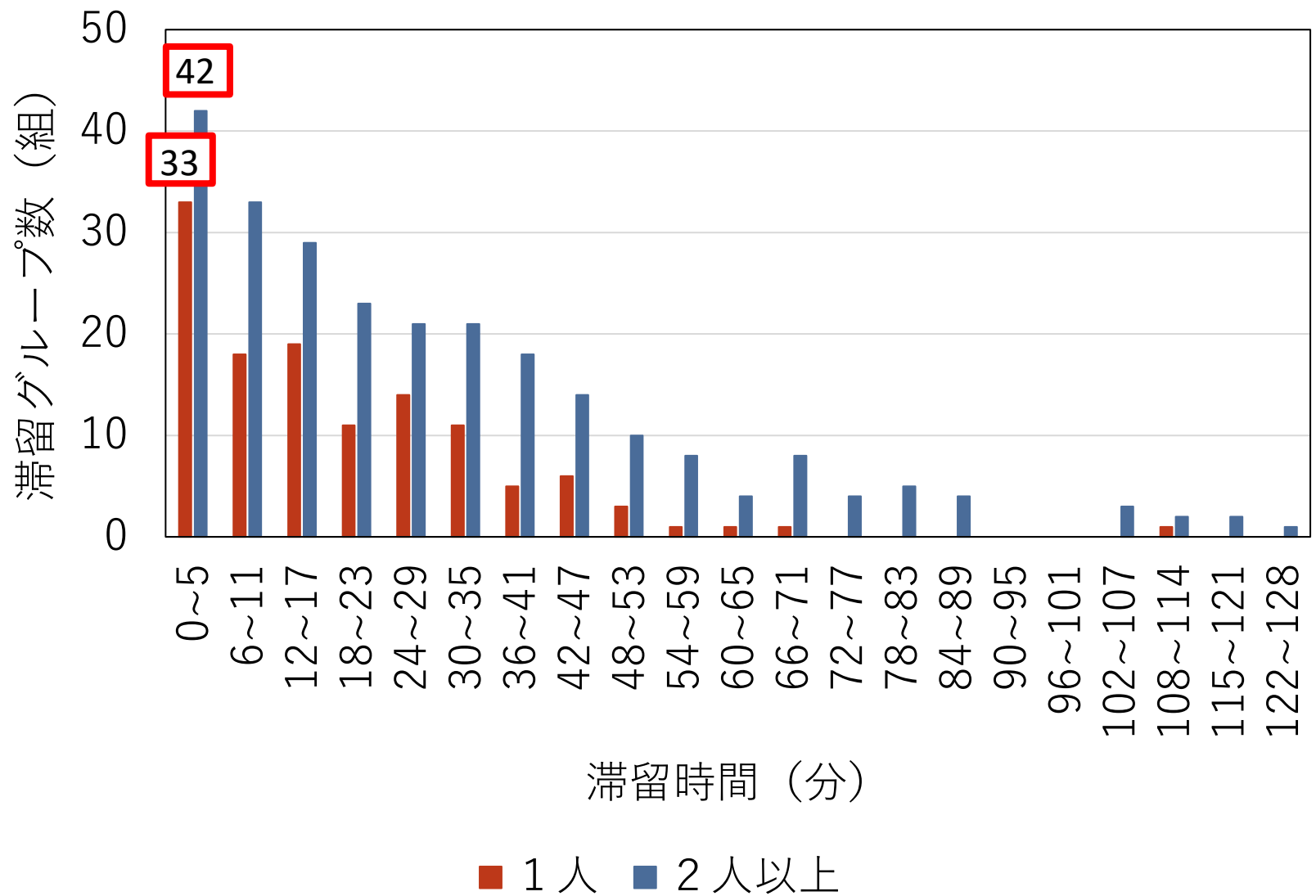
● 2人以上



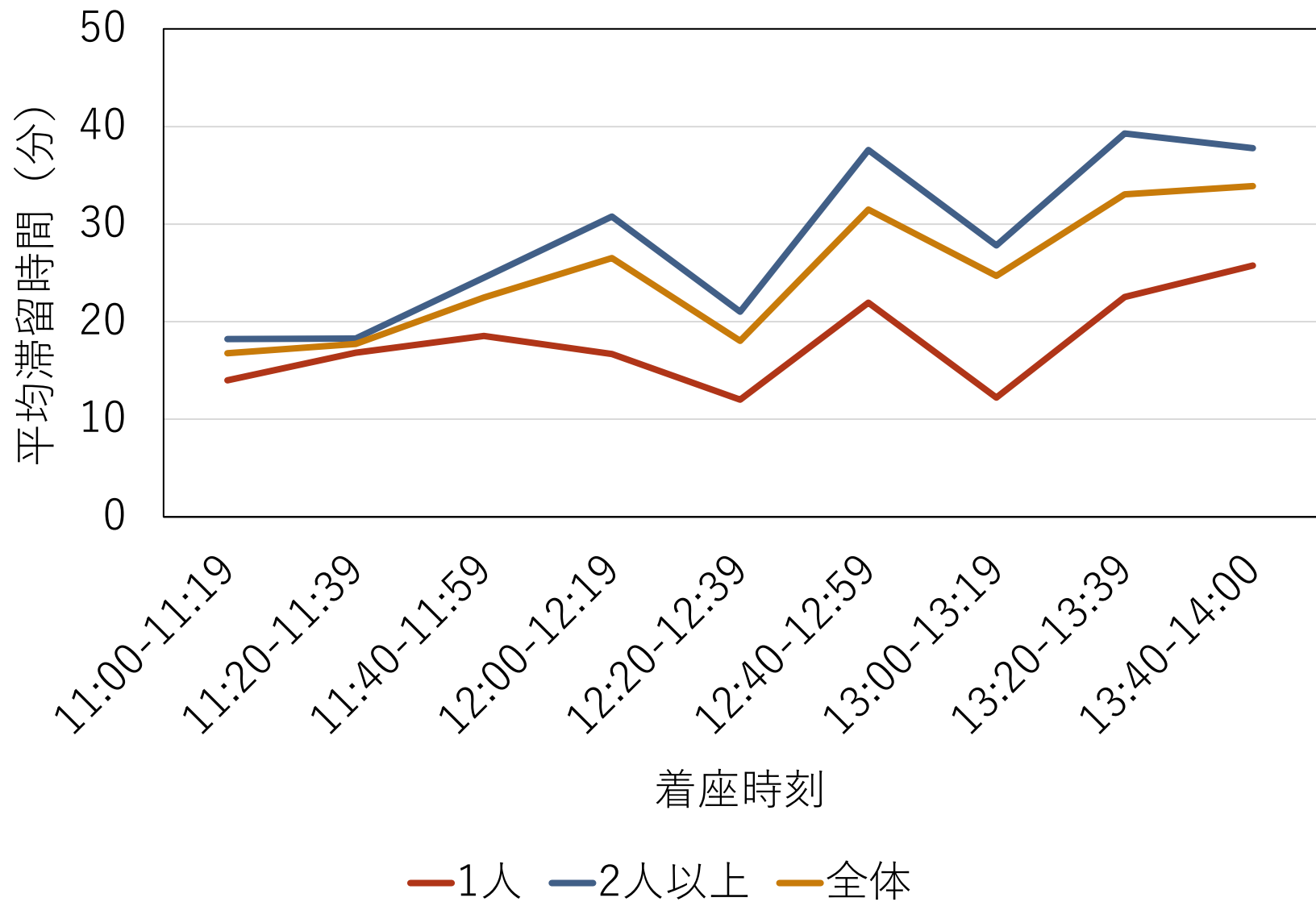
# 1分ごとの滞留グループ数推移



# 滞留時間ごとの滞留グループ数



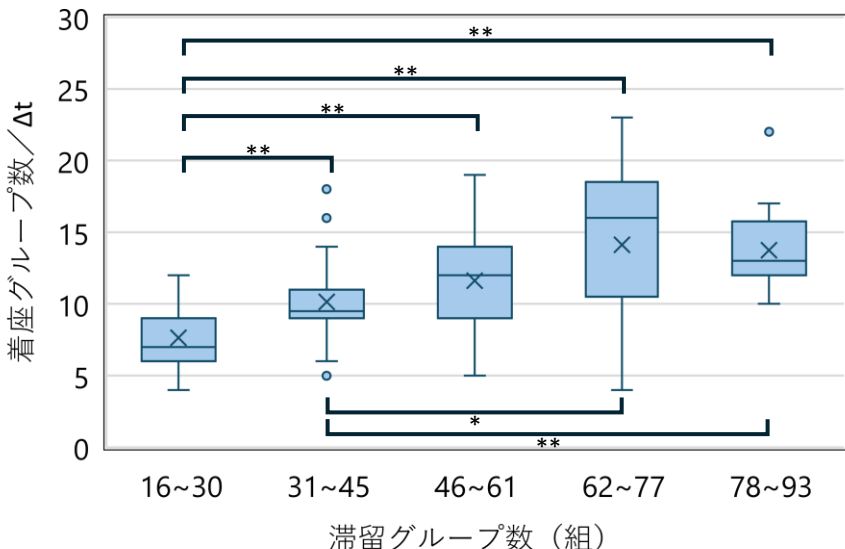
# 滞留時間の時系列推移



# 滞留利用と他者との関係

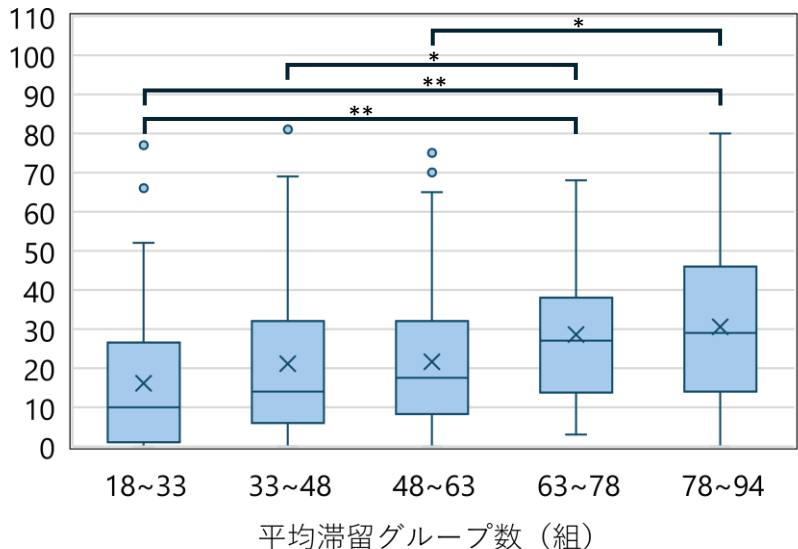
## 着座と滞留グループ数との関係

全体

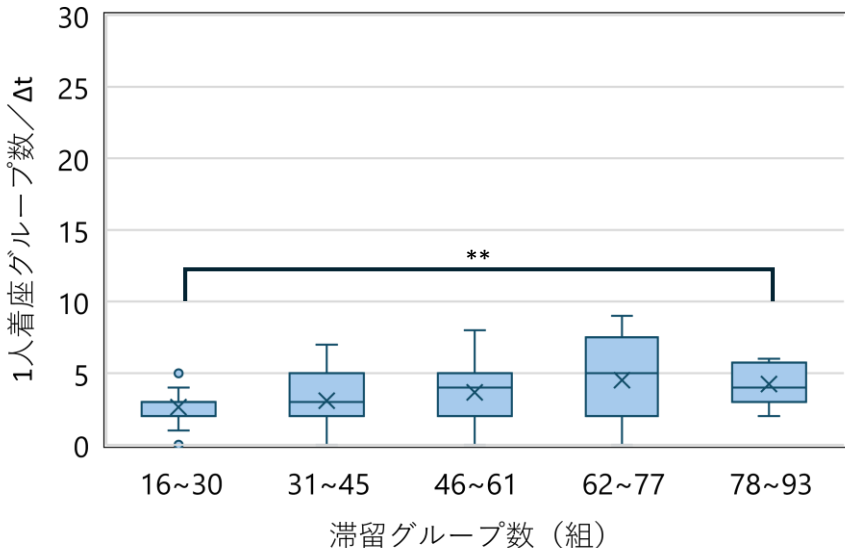


## 滞留時間と平均滞留グループ数との関係

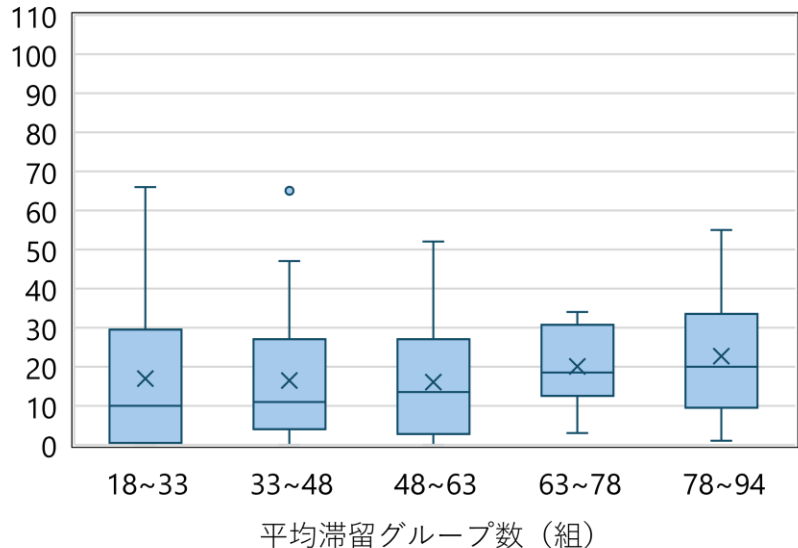
滞留時間



1人



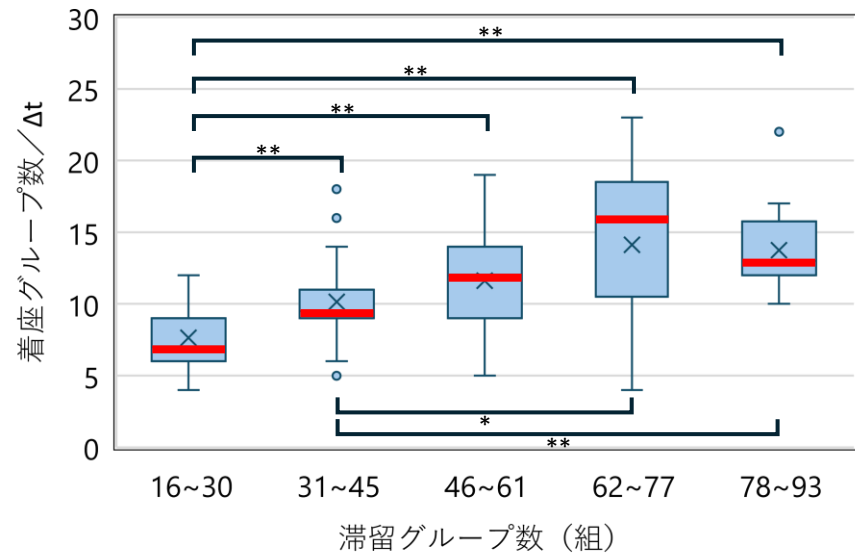
1人滞留時間



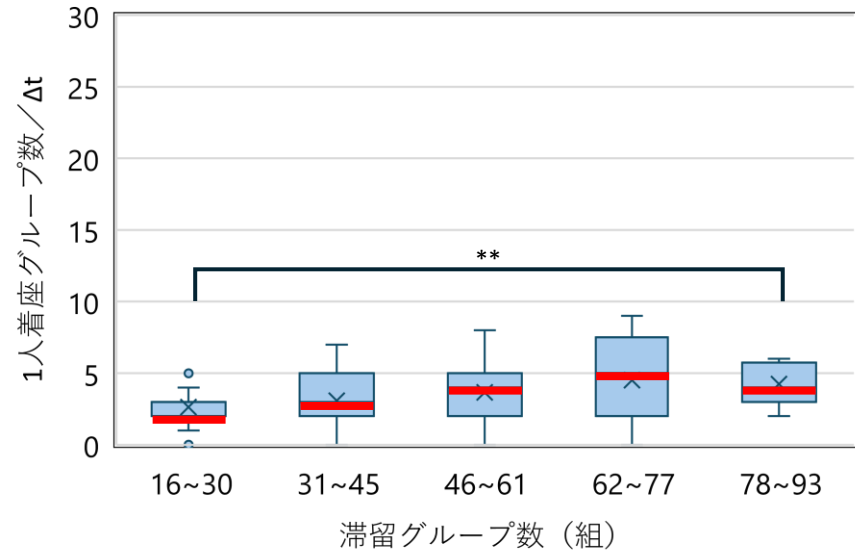
# 滞留利用と他者との関係

全体

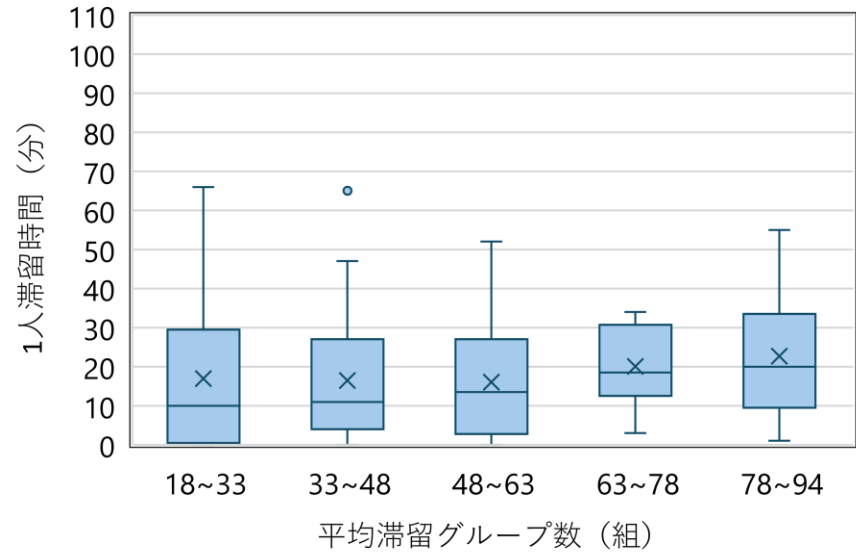
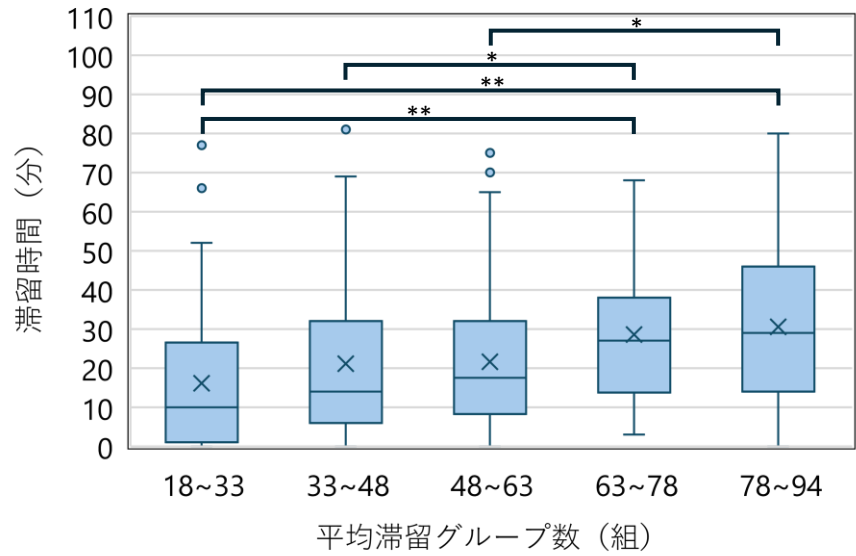
## 着座と滞留グループ数との関係



1人



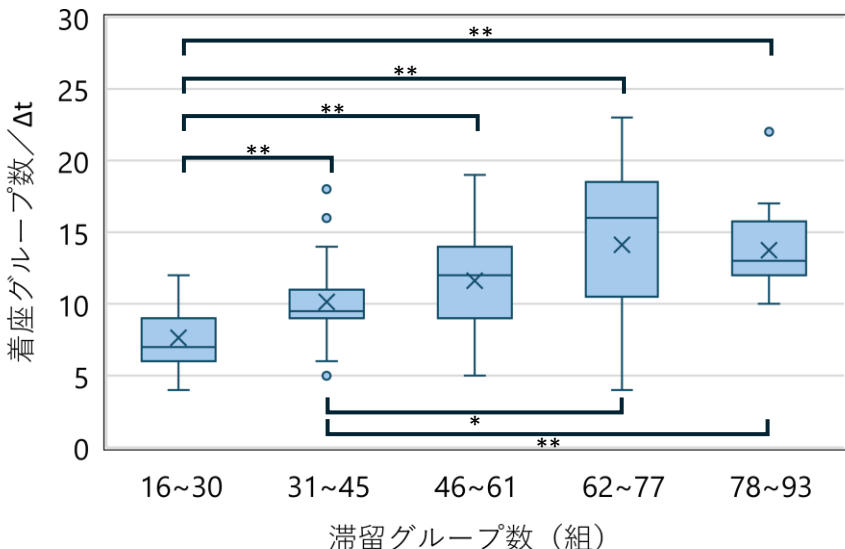
## 滞留時間と平均滞留グループ数との関係



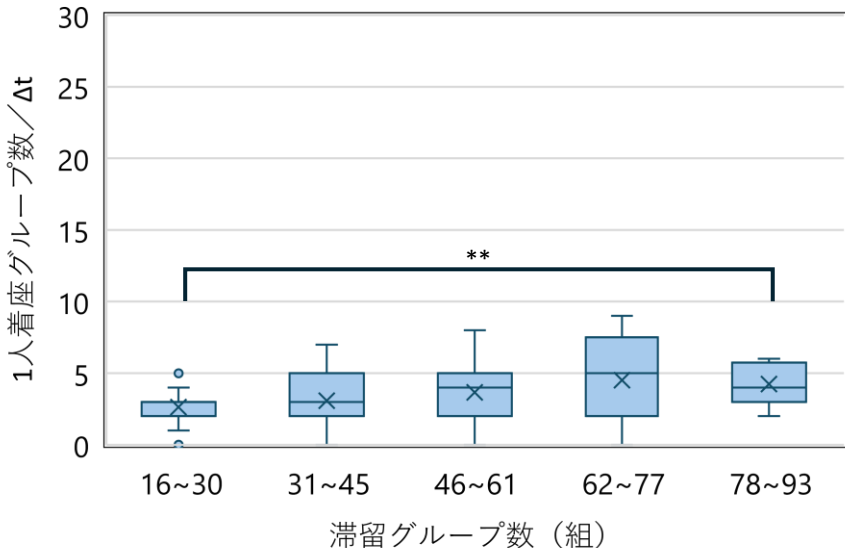
# 滞留利用と他者との関係

## 着座と滞留グループ数との関係

全体

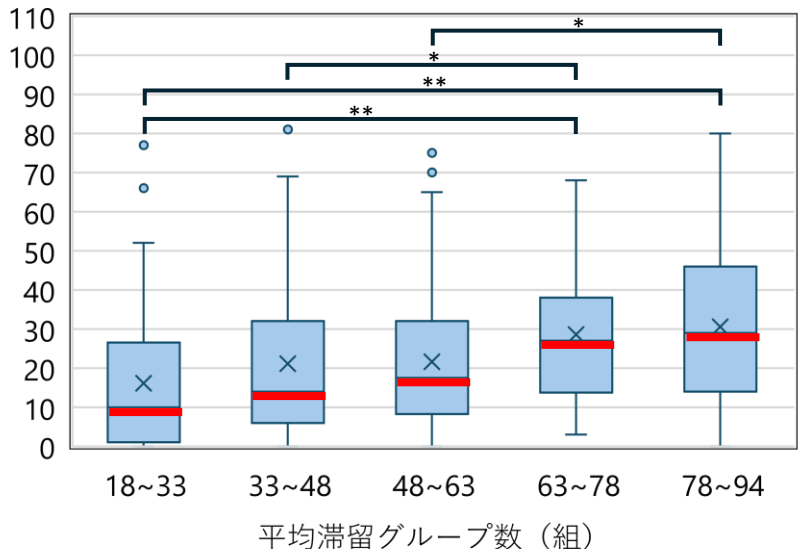


1人

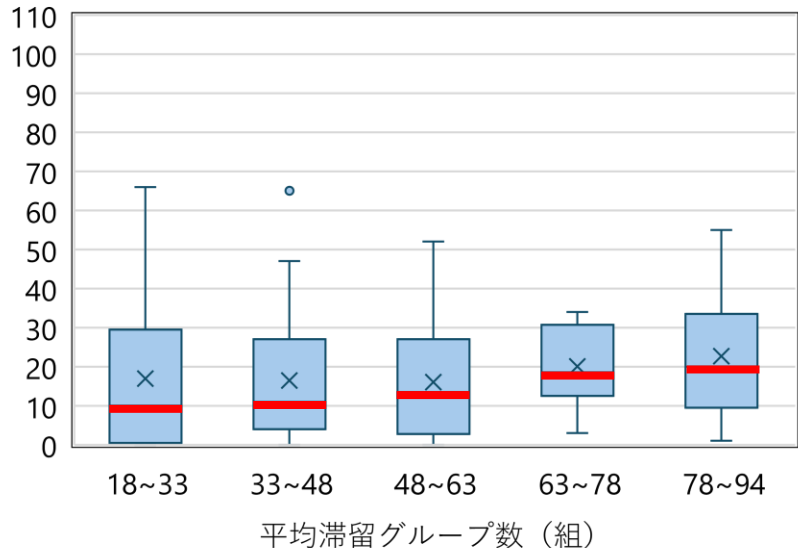


## 滞留時間と平均滞留グループ数との関係

滞留時間 (分)



1人滞留時間 (分)



## ■ 全体の滞留に対する他者の影響

「賑わい」は座り始めるきっかけとなるとともに滞留の継続を促す

## ■ 1人での滞留に対する他者の影響

「賑わい」は座り始めるきっかけにはなり得るものの、滞留し続ける要因には必ずしもならない



## ■ 今後の展望

今後、他者との関係の中で個々が上質に過ごせる屋外公共空間を検討する上では、「賑わい」の創出のみならず、滞留し続けたいと感じる居心地への配慮が重要である

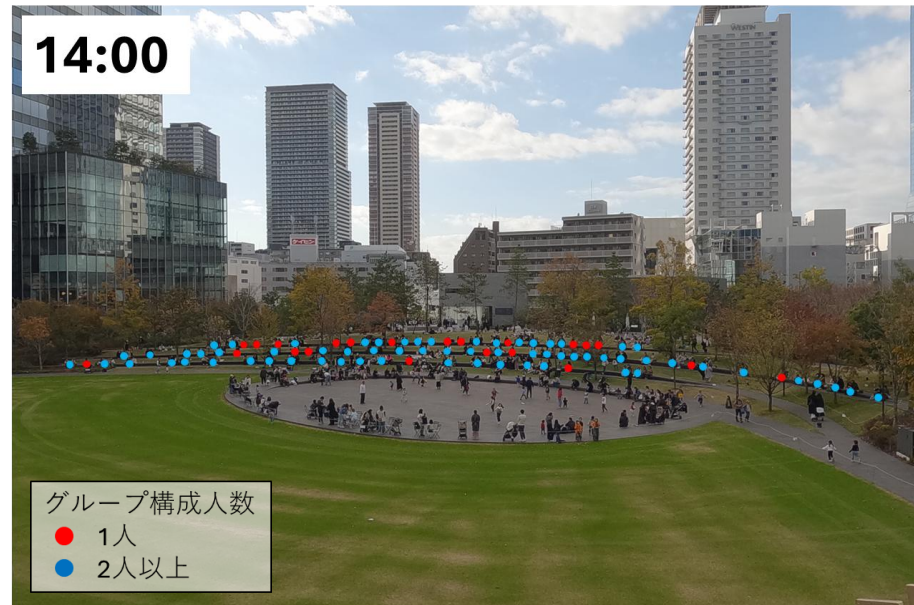
11:00



グループ構成人数

- 1人
- 2人以上

14:00



グループ構成人数

- 1人
- 2人以上